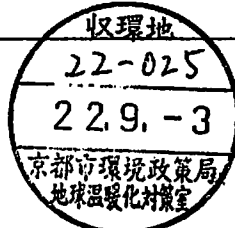


第4号様式（第19条関係）

特定建築物排出量削減計画書

（あて先） 京都府 京都市長	平成22年 9 月 / 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市山科区大宅山田町34	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名、署名） 学校法人京都橘学園 理事長 梅本 裕 電話 075-574

京都府地球温暖化対策条例第19条の規定により提出します。			
特定建築物の名称	京都橘大学 新教室棟建設工事		
特定建築物の所在地	京都市山科区大宅山田町34		
特 定 建 築 物 の 概 要			
設計者の氏名			
設計者の住所			
工事種別	☐ 新築 ☒ 増築		
予定年月日	工事着工予定年月日	平成22年 11 月 1 日	
	工事完了予定年月日	平成22年 8 月 31 日	
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上 3 階 地下 1 階
敷地面積	71,519.95㎡	高さ	15.3 m
建築面積	1,112.91㎡	床面積	3,047.14 ㎡ (33,169.86㎡)
用途別床面積	住宅	㎡	
	ホテル等	㎡	
	病院等	㎡	
	物品販売業を営む店舗等	㎡	
	事務所等	㎡	
	学校等	3,047.14 ㎡	
	飲食店等	㎡	
	集会所等	㎡	
工場等	㎡		
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための措置			
■ 外壁、屋根、床の断熱		(概 要) 外壁には現場発泡ウレタン t 15 を吹き付け。	
■ 窓の断熱又は日射遮へい		(概 要) 特になし。	



☐ 自然エネルギーの直接利用	(概 要) 特になし。
☒ 自然エネルギーの変換利用	(概 要) 全熱交換器の設置。
☒ エコマテリアルの利用	(概 要) 高炉セメントの使用。
☒ 緑化	(概 要) 既存緑化の利用。
☐ 雨水利用	(概 要) 特になし。
☐ オゾン層保護	(概 要)
☐ 長寿命化	(概 要)
☒ その他	(概 要) 高効率照明器具の使用。
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果	別添のとおり
連 絡 先	担 当 部 署
	担 当 者 氏 名
	住 所
	電 話 番 号
	ファクシミリ番号
設計者の住所及び氏名の公表について	☐ 公表可 ☒ 公表不可

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 床面積の欄の括弧内には、増築の場合に当該増築部分の床面積を記入してください。

3 用途別床面積の用途（住宅を除く。）とは、建築物に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断の基準（平成15年 経済産業省・国土交通省告示第1号）別表第1に掲げるものとします。

4 概要を記入した場合は、それらを図面等で明示した資料を添付してください。

5 エコマテリアルとは、人体への安全性や資源の枯渇に配慮した材料、リサイクルが容易な材料等環境負荷の少ない材料をいいます。